



### 顣 許

# (19) 日本国特許庁

## 公開特許公報

昭和48年6月8日 特許庁長官

タンジョウイタシチヤクまウまウ 天井板止輪方法

フリガナ 住 所(居所) イクノクナカガウニシ 大阪市生野区中川西1丁目9番12号 オオシマシッ゛

大島 志津

3. 特許出願人

在"所(B所) 大阪市星野及中介部1丁目9番12号 アリガナ (株人にあっては各勢) オオシマカナモノ (国 條)

55<sup>n</sup>. 志 津 代表取締役 大島

4. Pt 珊 **7543** 

> フリガナ 住 所 (居所) 大阪市天王寺区味原町 6 番地の 5 弁理士 (59i8) 吉 見 勇 三 電話大阪 (762) 1 2 6 3

5. 添付書類の目録

明細審 (1)

(2) Z 面 (3) 願魯副本

1 通

1 通

(4) 委任状 (5) 出願審查請求審 1 浦 特許方 通 48. 6. 11

出現的景學方

①特開昭 50-14119

43公開日 昭50.(1975) 2. 14

20特願昭 48-65080

22出願日 昭4.(1973)6

審查請求

(全2頁)

庁内整理番号

62日本分類

5834 22

86(4)E411.1

発明の名称

天井板止着方法

、特許請求の範囲

野緑である断面角型パイプの底板にタッピン グスクリユー直径より狭い縦溝孔を設け之れに 目地である断面帽型の型鋼の天板に適宜の間隔 を置いて小孔を穿設し、その各小孔よりタッピ ングスクリコーを縦構孔に螺挿をし、野縁と目 地の両側緑間に天井板を挟着なすよう成したこ とを特徴とする天井板止着方法

発明の詳細な説明

本発明は型網たる野緑材と目地材との間に天 井板を挟持をす天井板の止着方法に関する創作。 てある。

従来野緑である断面角型のパイプに目地であ る断面帽型で天板に適宜間隔を置いて小孔を穿 設の型鋼を取り付けるには小孔を挿通してパイ プ底板にドリル孔を設け之れにタップ螺子切り を施し天井板を挟持して螺子鋲を螺竜して取付

けて居つた、上記方法によるときはその小孔と 螺子孔との位置の決定即ちパイプにあらかしめ 合致なす小孔を明けておき定位置を決定なす必 要があり且つタップ立てを必要とするものであ る。本発明は之等の穿孔タップ立てを廃して簡 単にタツピングスクリユーを螺挿することに依 り野縁と目地を接合し天井板を止着すべく創作 なしたもので、之が実施例を図面に就いて説明 ナれば、野緑である断面角型のパイプ(1)の底板 (2) に タ ツ ピ ン グ ス ク リ ユ ー (3) よ り 狭 い 縦 構 孔(4) を穿設なし、之れに目地である断面帽型の型鋼 (6)の天板(6)に適宜の間隔を置いて小孔(7)を穿設... ・し、その各小孔(7)よりタッピングスクリユー(3) を縦溝孔(4)に螺挿なし、野縁と目地の両側縁(9) (9)間に天井板(10)(10)を挟着なすよう成したもので

上発明は上記の天井板の止着方法であるから野 緑たる角型パイプ底板にあらかじめ特定巾の縦 南孔を設けあることに依り野緑材に目地材を当 てがつて、その小孔にタッピングスクリューを

## 4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示す縦断面図である

(1)・・・・・パ イ、ブ (2)・・・・底 材

(3)・・・・・ タッピングスクリュー

(6) - .... 天 板 (7) - .... 小 孔

(9) (9) ・・・ 側 緑 (10) (10)・・・ 天 井 札

